

講演(3) 黒川清流公園の水辺の生き物

古田 慎二 (日野の自然を守る会)

多くの人々が楽しむ身近な自然→移入で変遷する生物相

同じ甲殻類で住みかや餌が重なり合うもの→うまく住み分けできているか？

サワガニ

一生を淡水域で暮らす蟹。地方により青白いタイプがいる。

アメリカザリガニ

“外来種だからよそへ移動しないように”なかなか周知されない現状。ウシガエルの餌として来日し各地で大繁殖。

ヌマエビ

増えてきた仲間たち。釣り具店や観賞魚店で売られているものを放流したため、在来種が減少している地方もある。



【参考】

野遊び経験度アンケート【採集系】	大学生	小学生
小学館アウトドア雑誌『BE-PAL』1991年6月号の記事を参考に作成。着色部は当時生活科・理科教科書に登場したもの。	東京学芸大学 3年生 20名	西東京市 5・6年生 91名
カブトムシ・クワガタムシとり	75%	77%
トンボ・セミとり	95%	84%
アメリカザリガニ釣り	60%	52%
ジグモとり	25%	16%
アリジゴクとり	40%	46%
オクマジャクシとり	75%	63%
魚釣り	60%	78%
川魚とり (手づかみ)	45%	56%
サワガニとり	45%	33%
コウモリ落とし	5%	8%
ハチの子とり	5%	8%

*2003年日本理科教育学会第42回関東支部大会「児童のものづくり体験－生活科と総合的な学習の時間での実践－」東京学芸大学・福地昭輝先生との共同研究から。

カワニナ

ホタル幼虫の餌として有名。なぜか貝殻の先端が欠けていることが多い。

マメシジミ

人生と無縁の生き物。他の河川とつながらない高山地帯の湖沼や、ちょっとした湿地にもいる生態がよくわからない不思議な生き物。茶漉しで調査を。

